

## 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

### [輸送の安全のために講じた措置]

#### 2019年度投資予算

① 最新車両（大型観光バス1台）リース料合算	22,824千円
② 車両整備・器材類（メーカーによる定期点検・タイヤ交換等）	16,017千円
③ 教育・指導に関する費用（適性診断・外部教育など）	
適性診断[適齢2名 初任1名 一般1名]	52千円
④ 健康管理に関する費用（定期健康診断・脳MRI健診等）	271千円

- ・救命講習（普通救命講習Ⅰ）を実施し、15名が受講しました。
- ・デジタルタコグラフのデータを活用した教育を行っております。
- ・AED器材を本社営業所内及び大型観光車両[5台]に設置、当社が習志野市消防本部より「応急処置協力事業所」に認定されました。
- ・ヒヤリハット情報・事故情報の収集と共有を行いました。
- ・車両火災を想定した緊急時避難訓練を実施し、乗客の避難誘導・非常口及び消火器の取り扱いと初期消火作業を行いました。
- ・適正診断[適齢・一般]を行い、その診断結果をもとに教育指導を行いました。



救命救急講座の受講様子



ドライブレコーダーからヒヤリハット情報収集



非常口取扱の様子



消火器取り扱いと初期消火訓練の様子

### [輸送の安全のために講じようとする措置]

#### ② 健康管理について

- ・ 定期的な健康診断・脳MRI健診の実施と健康状態の把握・管理・指導を行う。
- ・ 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査を実施します。

#### ③ 運転者の研修について

- ・ 定期的な適性診断の受診と診断結果に基づく教育・指導を行う。
- ・ 緊急時避難訓練を実施し、緊急時の対応力の強化を行う。

#### ④ 社内規定の遵守と厳正な点呼の実施

- ・ 内部監査における指導項目ゼロ達成。
- ・ 疲労・疾病・睡眠状況の確認とアルコール検出者ゼロ達成。

#### ⑤ 遠隔地における中間点呼について

- ・ 社内規定に基づき、遠隔地における中間点呼の実施。

### 2020年度投資予算

① 最新車両（中型バス1台：小型バス2台）リース予定	20,000 千円
② 車両整備・器材類（車両定期点検・タイヤ交換等）	18,000 千円
③ 教育・指導に関する費用（適性診断・外部教育など） 適性診断[適齢8名 一般6名 初任2名予定]	100 千円
④ 健康管理に関する費用（定期健康診断・脳MRI健診等）	500 千円